

ほろけもん

139 電話



薩摩郷句

兼題「容姿」

走はしい競争ぐらよし容姿よしも構かままじ叫おどつ母

(唱) 息子こどま恥けんのし寄よい付つこたせじ

自分わが容姿よしが写かがみ溜う息いく付ちつ

(唱) ま小こつとどまち情なさけけ無な身み体た

美男子よかにせち容姿よしゆ見いて嫁いたや最も早へり離り婚こん

(唱) 父とちゃんおのよな人ひて嫁いけ言ちたて

鼻はなも高たけ容姿よし良よかどん連つれが悪わるい

(唱) 本ま当こち勿て体な無なか容姿よし禍わざい

見みる容姿よし無なかずなだれを流は行や言いつ

(唱) こん次なが何なが流は行やいこつじやろ

高辻満天
植村聴診器

大崎短歌会

兼題「生」

背せを割わりてようやく生なまれし油あぶ蟬せみ

透ときたる羽はのかすかに震ふるう

生なかされていいることこととすぐくに忘われがち

今日け日も鳥とりがアホアホと笑わらう

みどり児こは拳こぶしを握にぎり思おもいきり

手足てあし伸のばしぬ名優な優うのごと

田いの水みづの温ぬみに生なうる冬ふゆ芹せりの

浅あきみどりを七しち草くさに摘とむ

いま暫しばし共ともに生なかさせ給たまへかし

卒そ寿じゆの夫とと屠蘇とそ酌しやくみ交まわす

大和やまとてるみ

山下初枝

坂元つる子

宮原のり

長重悦子

大崎俳句会

さざん花はなの散ちりこぼれたる石いしの上うへ

軒のき下に影かげも並ならびて吊たりし柿かき

初春はつしゅんの先祖せんぞ譲ゆづりの朱しゆ盃ばいかな

柚子ゆず風呂ふろに頸のどを浮うかせてままこと顔かほ

野のの路みちや行いくくてををはばみ牛うし膝ひざ

古鍋ふるなべの粥かゆに七しち種しゆ香かり立たつ

鴛鴦うしどりや六む面めん地ぢ蔵ざうみじろかず

折田かず

二見淑子

宮下のし

益倉睦美

内村美恵子

折田かず

内村美恵子

2月から福祉バスが新しくなりました！
老人福祉センターのご利用をお待ちしています！

